令和３年度
学校だより

自立　克己　友愛

輝け！中央中

令和３年　１２月　７日
北九州市立中央中学校
校長　宮　基　章　弘
第　１５　号

＜学校教育目標＞
◎規律ある学校生活を通して、確かな学力を身に付けさせ、健やかな体と思いやりのある心豊かな生徒を育成する

暦は師走。2021年も残り1ヶ月…　12/4日～10日は『人権週間』です！

陽がくれるのも早くなり、朝晩だけでなく日中も肌寒くなってきました。そのせいか、少しずつ体調不良を訴える人が増えてきているようです。コロナ感染症に加え、これからはインフルエンザも流行するおそれがあります。12 月は２学期のまとめの時期であり、３年生にとっては受験に向けての追い込みの時期です。睡眠・栄養をしっかりとって、体調管理を各自できちんとしていきましょう。そして年の瀬も近づき、世間もあわただしくなりますが、１年のまとめや来年度の予定や抱負を考える時期でもあります。暦は師走（しわす）。今年も残り１ヶ月。今年のことは今年のうちに終わらせられるように、それぞれが自分の１年を振り返り、やるべきことをきちんとやり遂げてほしいと思います。

さて、今月の4日～１０日は『人権週間』です。これは 1948 年 12 月 10 日に、国際連合で【世界人権宣言】が採択されたのを記念して定められたものです。北九州市のHP【人権週間について】に“私たちは誰も差別を受けることなく、自由に、人間らしく生きていく権利～「人権」を持っています。そしてこの人権をお互いに守りあうことは、私たちのまちづくりに欠かせないことです。すべての人が、人として大切にされる社会を実現するための出発点は、私たち一人ひとりです。”とあります。コロナ差別、いじめ問題等、世間で騒がれている問題はたくさんありますが、みんなが何かに気づく、何か始めることで解決に向かい、すべての人の笑顔につながっていくのです。まずは視野を広げ、大切なことに気づき、そして自分一人でも始めようとすることが大切です。この１週間は「明日への伝言板」を視聴する等で、『人権』について考える時間にしましょう。

いいね👍頑張れ！中央っ子！　＝輝く生徒たち！＝

中体連新人大会　俳句コンクール等　中央っ子が大健闘！

１０月末から各種目で始まった中体連新人大会の区内大会ですが、出場した各部活動は、練習が十分にできない中、よく頑張りました。特に、剣道部は市内大会に進出し、卓球の個人戦では優勝という素晴らしい成果を収めました。まだ大会が始まっていない部活動もありますので、これからの結果も楽しみです。

また、学校から３年生が応募した俳句のコンクールでも入賞者を出しています。文化、体育両方で、中央っ子の健闘が見られ、嬉しい限りです。早くコロナ感染症対策の制限がなくなって、皆の競技を間近で見られたらいいですね。

以下、新人大会等の結果です。　※個人名は敬称略です。

＜剣道部＞
◇八幡東区新人剣道大会（11/7　八幡東体育館）
男子団体：準優勝　市内大会出場　⇒　11/13　市内大会　予選リーグ惜敗

＜女子バレー部＞
◇八幡東区新人バレーボール大会(11/6･7　中央中学校他)
予選リーグ3位　決勝トーナメント惜敗

＜卓球＞
◇八幡東区新人卓球大会(11/6　八幡東体育館)
男子個人戦　2年　　優勝　※個人戦は区内大会のみ

＜バスケット部＞
◇北九州市民体育祭バスケットボール区内大会(10/23･24･11/3　枝光台中　他)
男子　第１位(総当たりリーグ戦　全勝)
女子　リーグ戦　上位ならず

◆「第 17 回　櫓山荘子ども俳句大会」
小倉北区自治総連合会長賞　　(3年)
◆「第 14 回　ひびしん俳句大賞」
理事長賞　　(3年)
◆「サンレーグループ創立 55 周年記念俳句コンクール」
入選　　(3年)　　(3年)

さん、　さんの作品は R4.1/4～1/31 福岡ひびき信用金庫本店(八幡東区尾倉)に展示します

広がる優しさの輪　転んだ小学生に“大丈夫？”

先日、ケガをした小学生の世話をした生徒の話をお知らせしましたが、同じようなことでお礼の連絡がありました。11 月 12 日の金曜日の下校中、よしぼう橋付近で小学生が転倒し、泣いているところに、３年生の　さん、　さん、　さんの３人が通りかかり、“大丈夫？”と声をかけ、ケガをしていた顔や手に絆創膏をはってあげたそうです。その後、小学生の保護者から学校に電話があり、面倒を見てくれて大変感謝していると報告をうけました。３人に確認のため話を聞いたところ、やはり「当たり前のことをした」と謙虚に話していましたが、この小さな親切は、中央中学校全体に影響する、大きな功績だと思います。このような特別な状況に出会わなくても、周囲への優しさの輪は、普段の生活でも広がっていくものですから、これから楽しみです。

中央NOW！　学校行事や生徒の様子をお届けします。

いざという時に…　スクール救命士講習実施！

11 月 9 日（火）に、2 年生を対象にして「スクール救命士講習」を行いました。これは、いざという時に皆で協力して命を守るための行動がとれるように、消防局が行っている応急手当の講習会です。当日は消防署の方からの説明の後、ＡＥＤの使用方法や訓練用人形を使っての人工呼吸法実習等を行いました。講習を受けた皆さんには「スクール救命士講習修了証」が後日手元に届き、【スクール救命士】に認定されることになります。

晩秋の風物詩？「枯れ葉クリーンアップ運動」

11 月 22 日から、校地内の枯れ葉（落ち葉）を集めて清掃する「枯れ葉クリーンアップ運動」が行われました。これは生徒会環境委員会主催ですが、環境委員さんと先生方が一緒になって清掃する様子は、朝８：００からの寒い風が吹く中でしたが、見ていて心が温まった気持ちになりました。クリーンアップ運動の後の校地内は、スッキリ綺麗になりました。環境委員の皆さん、ありがとうございました。

「第 2 回学校運営協議会」開催！

11 月 26 日（金）に第 2 回学校運営協議会が八幡小学校多目的ルームで行われました。両校の様子の中間報告や全国学力調査の結果をもとに、中央中学校の課題や今後のことについて、意見交換を行いました。「朝食をきちんと食べる等の基本的生活習慣の確立」や「地域との交流をより深める」等、今後の取組を学校・保護者・地域で考えていく方向性も出され、有意義な会議をもつことができました。

＝ことばに学ぶ！＝　No.11「童謡 ぞうさん」

童謡の「ぞうさん」は 1951 年に発表されたもので、戦争に敗れた日本人の心にしみわたり、多くの人が感動した童謡です。実はこの「ぞうさん」は**【もっともっと強く自分に自信をもとう】**ということを伝えている歌なのです。作詞した童謡作家のまど・みちお氏が、この歌のことを『象の子は、鼻が長いねと悪口を言われた時に、しょげたり腹を立てたりする代わりに、一番好きなかあさんも長いのよ、と誇りを持って答えた。それは、象が象として生かされていることが素晴らしいと思っているからです。』と説明しています。自分をよく見つめると自分にしかないよさが必ずあります。**自分のよさや可能性を信じ**、同時に**他の人のよさにも積極的に目を向ける**ようになると、自分自身も**豊か**になるし、**よい人間関係が築ける**のではないでしょうか？